



## 東京学芸大学附属高等学校 第20回 公開教育研究大会のご案内

皆様方には、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では、第20回公開教育研究大会を以下のとおり開催いたします。新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、昨年同様オンラインで実施させていただくこととなりました。是非、多くの教育関係者の皆様にご参加いただき、ご意見、ご助言を賜りたく、ご案内申し上げます。

### 1. 主題

「『学習評価』を軸としたカリキュラム・マネジメント(3)～観点別評価から考える教育活動の改善～」

本校では一昨年度より「『学習評価』を軸としたカリキュラム・マネジメント」を主な研究テーマに設定してきました。観点別評価が高等学校にも導入され、確かな学力を育成するために「学習評価」の更なる改善が求められています。本校が培ってきた指導と評価の方法を授業実践のかたちで公開し、学校全体の教育課程を有機的なものへと高めていきたいと考えています。

### 2. 日時・内容

令和3年11月6日(土)

各教科の研究授業は、事前に撮影した動画を参加者の方に限定公開します。11月6日はオンラインで午前中に各教科の協議会を、午後には全体講演会を行います。

10:00～12:00

12:00～13:00

13:00～15:00

|           |     |     |
|-----------|-----|-----|
| 各教科 研究協議会 | 昼休み | 講演会 |
|-----------|-----|-----|

**公開授業 ※研究授業は動画配信します。視聴には事前申し込みが必要です。**

| 教科   | 科目   | 授業者            | 授業タイトル   | 授業概要   |
|------|------|----------------|--|--|
| 国語   | 国語総合 | 金指 紀彦<br>塚越健一朗 | 「学びに向かう力、人間性等」をどう評価していくか。                      | 3観点のうち最も評価の仕方が難しいとされる「学びに向かう力、人間性等」。さっそく来年度の第1学年で履修する「現代の国語」「言語文化」を想定して、その評価を試みる。  |
| 地理歴史 | 地理   | 栗山 絵理          | 「地図や地理情報システムで捉える現代世界」の充実(仮)                    | 来る新課程の実施に向けて、観点別評価に配慮しながら、「地理総合」および「地理探究」の充実を見据えた授業実践を試行する。授業で活用した教材を参加者の皆さまに提供し、すぐに授業でお使いいただけるように工夫したいと思う。  |
| 数学   | 数学A  | 祖慶 良謙          | 図形の性質  | 1to1を活用して図形の性質を探る。   |
| 理科   | 化学   | 成川 和久          | 見出して理解する態度をどう評価するかー「有機化合物」の単元における観点別評価ー        | 「有機化合物」の単元において、生徒にどのような資質・能力が身に付いたかを観点別評価により明らかにする。具体的には「態度」に関する評価方法に着目し、生徒の学習改善につなげるようにしたい。   |
|      | 生物基礎 | 大谷康治郎          | 学びを社会へつなげる態度をどう評価するかー「遺伝子とそのはたらき」の単元における観点別評価ー | 「遺伝子とそのはたらき」の単元において、生徒にどのような資質・能力が身に付いたかを観点別評価により明らかにする。具体的には「態度」に関する評価方法に着目し、生徒の学習改善につなげるようにしたい。  |
| 保健体育 | 保健   | 松川 想           | 1学期のまとめー自身の生活習慣を改善するー                          | 1年の1学期では、乱れた生活習慣が健康へ及ぼす悪影響や、個人や社会的な健康課題について学んできた。運動・食事・休養の3つの授業で個別に捉えてきた健康に関する知識を、自身の生活習慣を見直すなかで捉え直した上で再構築し、行動変容を起こすにはどうすれば良いか模索する。まとめとして、A4で3枚程度のレポートを作成する。 |

|             |                  |       |   |  |
|-------------|------------------|-------|---|--|
| 芸術          | 音楽Ⅰ              | 居城 勝彦 | PCを活用した創作活動～相互批評によるブラッシュアップ～                    | 五音音階、オスティナート、形式などの既習事項を使い、音楽ソフトを活用して各自が作品(集)の完成を目指す。相互に批評することで音楽技法や作品の良さに気づき、自分の創作活動のブラッシュアップを図る姿勢を育てたい。 |
|             | 工芸Ⅰ              | 神田 春菜 | 素材を生かす工芸の表現を知る～<br>[ 木工 ] 積層技法を生かした小物置き(入れ)の制作～ | 新学習指導要領では表現及び鑑賞の学習においてそれぞれに必要な力として〔共通事項〕が位置付けられた。本題材ではそれぞれの活動を相互に関連付け学習が深まることを目指した〔共通事項〕の指導のあり方を提案したい。   |
| 外国語<br>(英語) | コミュニケーション<br>英語Ⅱ | 豊嶋 維  | インタラクションを通じた内容理解                                | 「英語を英語で理解する」ことを基本とし、教師と生徒のインタラクションの中で内容理解を深められるようにする。教科書本文の内容をその場では日本語を解さずに色々な表現を通してそのまま理解できることを目標とする。   |

### 研究協議会 11月6日(土) 10:00～12:00

| 教科          | 研究テーマ                                 | 提案者            | 助言講師  | 所属  |
|-------------|---------------------------------------|----------------|-------|---|
| 国語          | 観点別評価の具体的なイメージを持つ                     | 金指 紀彦<br>塚越健一朗 | 松澤 直子 | 神奈川県教育委員会 指導部 高校教育課<br>専任主幹(教育指導担当) 兼指導主事 |
| 地理歴史        | 地理総合・地理探究の充実に向けて(仮)                   | 栗山 絵理          | 未定    |   |
| 数学          | 観点別評価の充実と深い学びの実現に向けた単元計画              | 数学科            | 成田慎之介 | 東京学芸大学教職大学院准教授                            |
| 理科          | 理科における観点別評価の実践―主体的に学習に取り組む態度をどう評価するか― | 理科             | 藤枝 秀樹 | 文部科学省初等中等教育局視学官                           |
| 保健体育        | 保健における観点別評価について                       | 松川 想           | 未定    |   |
| 芸術<br>(音楽)  | 観点別評価を音楽の授業づくりにつなげる                   | 居城 勝彦          | 中地 雅之 | 東京学芸大学教育学部音楽教育講座教授                        |
| 芸術<br>(工芸)  | 美術, 工芸における観点別評価(仮)                    | 神田 春菜          | 横田 学  | 京都市立芸術大学名誉教授                              |
| 外国語<br>(英語) | 観点別評価を踏まえた英語の授業の進め方について               | 豊嶋 維           | 未定    |   |

### 講演会 11月6日(土) 13:00～15:00

|     |                             |
|-----|-----------------------------|
| テーマ | 「都立高校における観点別評価導入の現状と課題(仮題)」 |
| 講師  | 小林 靖 先生 (東京都教育庁指導部主任指導主事)   |

### 3. 後援 東京都教育委員会(申請中)

### 4. 参加申込

研究授業および講演会への参加申し込み受付は、9月中旬以降本校HP( <http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp> )で行います。